

適用規格		UL, C-UL, TUV規格 (付図1)			
定 格	使用温度範囲	(注1) -40°C ~ +105°C (通電による温度上昇を含む)	保存温度範囲	(注2) -40°C ~ +60°C	
	電 圧	電源部：(付図1) 信号部：AC, DC 250 V	適合ケーブル	22sq(WL1, WL2, UL3832AWM) (AWG#3) (付図1)	
			電 流	電源部：100 A (200 A, 2秒以下) (UL, C-UL, TUV) (付図1) ：125 A (軽減曲線：25°C時) (付図2) 信号部：1 A	
性 能					
	項 目	試 験 方 法	規 格	QT	AT
構 造	外觀, 構造, 仕上げ	目視, 寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	○	○
	表示	目視にて確認する。	図面と合致していること。	○	○
電 氣 的 性 能	接 触 抵 抗	電源部:DC 1 A で測定する。 信号部:100 mA (DC OR 1000 Hz) で測定する。	電源部：0.3 mΩ以下 信号部：60 mΩ以下 (注3) (製品検査は信号部のみ)	○	○
	絶 縁 抵 抗	DC 250 Vで測定する。	5000 MΩ以上	○	—
	耐 電 圧	電源部にAC 2000 V、信号部にAC 650 Vの 電圧を1分間印加する。	せん絡・絶縁破壊がないこと。 (製品検査は信号部のみ)	○	○
機 械 的 性 能	総 合 挿 抜 力	毎分30±3mmの速さで、適合コネクタで 測定する。	挿入力：98 N 以下 抜去力：98 N 以下	○	—
	繰 り 返 し 動 作	毎時600回以下の速さで 100回の抜き差しを 行う。 (信号部は30回の抜き差しを行う)	①接触抵抗変化量(電源部)：0.5mΩ以下 (注3)(信号部)：40mΩ以下 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐 振 性	周波数 10 ~ 55 Hz, 片振幅 0.75 mm, 5分を1サイクルとし、3軸方向 各10サイクル (計30サイクル)の振動を加える。	①10 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐 衝 撃 性	加速度 490 m/s <sup>2</sup> , 持続時間 11 ms, 正弦半波 3軸方向 各3回 衝撃を加える。	①10 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
環 境 的 性 能	温 度 サ イ ク ル	温度 -40 → 105 °C 時間 30 → 30 分 槽の移し変え時間は2~3分とする。 上記を1サイクルとし、カン合状態で 5サイク ル実施し、常温常湿中に1~2時間放置する。	①接触抵抗変化量(電源部)：0.5mΩ以下 (注3)(信号部)：40mΩ以下 ②絶縁抵抗：1000 MΩ以上 ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	定 常 状 態 の 耐 湿 性	温度 40±2 °C, 湿度 90~95% 中にカン合状 態で96時間放置後、常温常湿中に1~2時間放 置する。	①接触抵抗変化量(電源部)：0.5mΩ以下 (注3)(信号部)：40mΩ以下 ②絶縁抵抗：1000 MΩ以上 ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐 熱 性	温度 105±2 °C中に カン合状態で96時間放置 後、常温常湿中に1~2時間放置する。	①接触抵抗変化量(電源部)：0.5mΩ以下 (注3)(信号部)：40mΩ以下 ②絶縁抵抗：1000 MΩ以上 ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	△の数	訂正記事	設計	検図	年月日
備考	上記規格値は 適合コネクタを組込んだ適合コネクタでの性能を示します。			承認	TU. TANIGUCHI 20230130
	試験規格の記載のない試験方法はIEC 60512(JIS C 5402)を適用している。			検 図	KG. OKITA 20230130
				担 当	MO. SHIMOYAMA 20230127
				製 図	MO. SHIMOYAMA 20230127
注	QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目		図番	SLC-128237-11-00	
<b>HRS</b>	製品規格表		製品名	PS3F-2RS/8S/10S(11)	
	ヒロセ電機株式会社		製品コード	CL0236-1055-4-11	△ 1/4

性能					
	項目	試験方法	規格	QT	AT
環境的 性能	耐寒性	温度 $-40 \pm 3$ °C中に カン合状態で96時間放置後、常温常湿中に1~2時間放置する。	①接触抵抗変化量(電源部) : 0.5mΩ以下 (注3) (信号部) : 40mΩ以下 ②絶縁抵抗 : 1000 MΩ以上 ③破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐腐食性 (塩水噴霧)	温度 $35 \pm 2$ °C、濃度 5±1%の重量比の塩水にて48±4時間放置後、常温にて水洗いし、常温常湿中に24時間放置、乾燥させる。	接触部にはなはだしい腐食がないこと。	○	—

(注1) 動作の保証できる範囲は人の活動できる温度としています。  
 (注2) 保存温度範囲は梱包材を含めた未使用状態の保存条件を示し、製品実装後の保存条件は使用温度範囲が適用となります。  
 (注3) 信号部接触抵抗は GT8Eコネクタを含んだ値とします。

注 QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目		図番	SLC-128237-11-00		
<b>HRS</b>	製品規格表		製品名	PS3F-2RS/8S/10S(11)	
	ヒロセ電機株式会社		製品コード	CL0236-1055-4-11	 2/4

## 付 図

### 付図 1. 安全規格 (UL、C-UL、TUV 規格) の条件について

本品は安全規格 (UL、C-UL、TUV 規格) を表 1 及び表 2 の条件で申請しています。  
安全規格は定格電圧や定格電流の申請内容によって、  
様々な条件がありますので、表 1 及び表 2 をご参照願います。

表 1. UL、C-UL 条件

	条件
定格電圧 (AC/DC)	600V
定格電流	100A
ケーブル	22sq AWG#3 (※1)
沿面距離 (※2)	MIN: 3.2mm
空間距離 (※2)	MIN: 3.2mm

表 2. TUV 条件

	条件
定格電圧 (AC/DC)	1000V
定格電流	100A (ケーブル 22sq , AWG#3 ※1)
過電圧カテゴリー	III
汚染度	3
沿面距離 (※2)	MIN: 16mm
空間距離 (※2)	MIN: 8mm
絶縁システム	基礎絶縁 (パネルがアースをとっていること)

※1: 電源端子に取り付けるねじ及び圧着端子は、空間距離及び沿面距離に関わりますので、  
下記の推奨ねじ及び推奨圧着端子をご使用下さい。  
推奨ねじ及び推奨圧着端子以外をご使用する場合、  
空間距離及び沿面距離が、UL、C-UL及びTUV条件を満足するかご注意願います。

- ・ 推奨ねじ: JIS B 1188 ばね座金+みがき丸座金組込み十字穴付きなべ小ねじ M6×12
- ・ 推奨圧着端子  
ケーブル22sq: JIS C 2805 R22-6

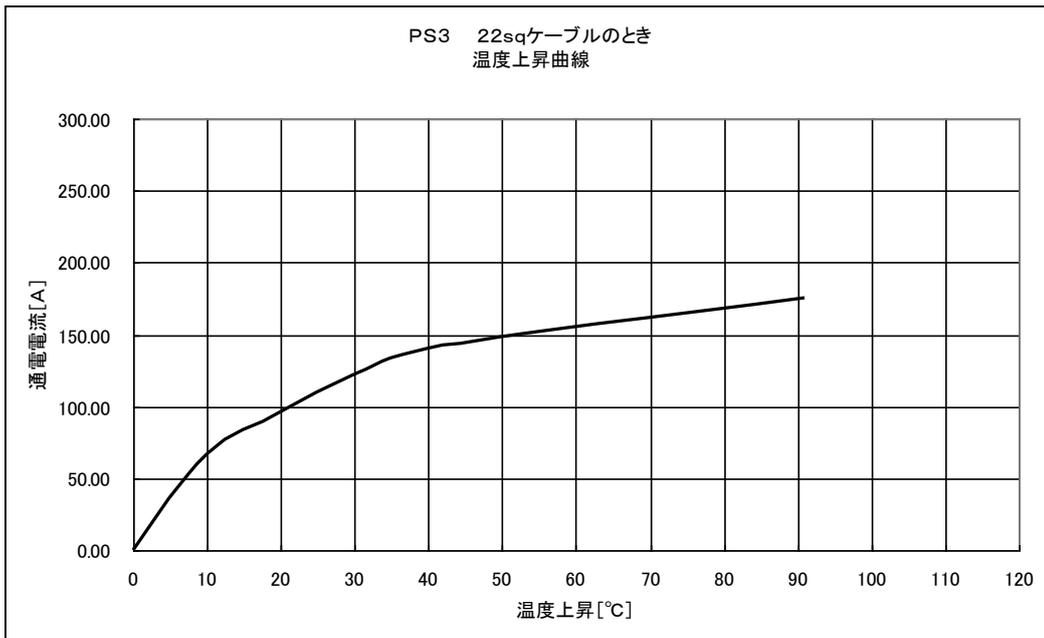
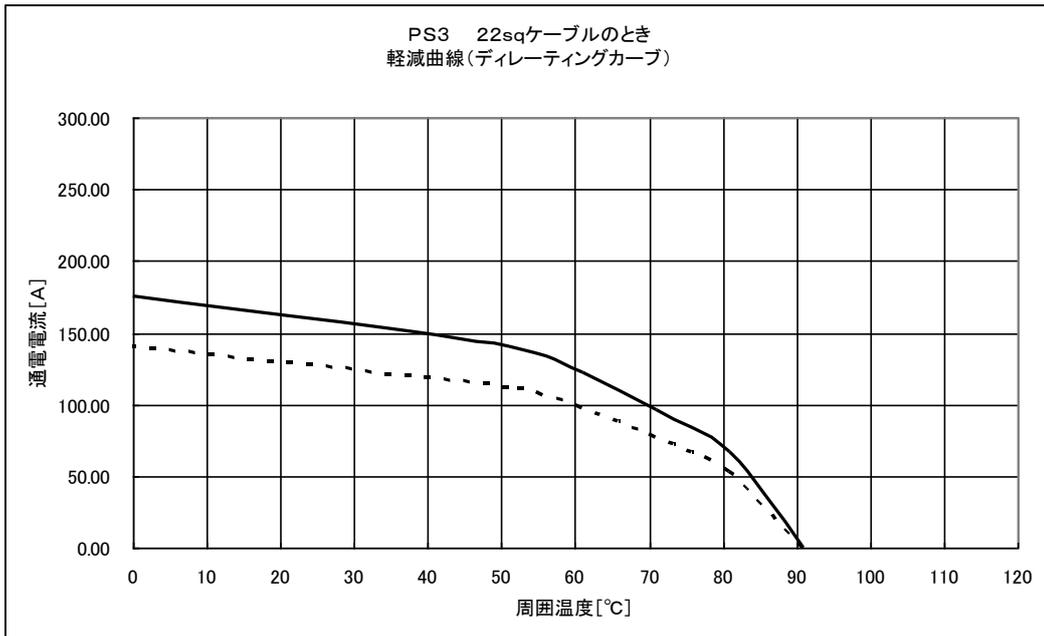
※2: 沿面距離及び空間距離の対象は、下記の通りです。

- ・ 圧着端子間
- ・ 電源端子とパネル間
- ・ 圧着端子とパネル間
- ・ (電源端子に取り付ける)ねじとパネル間

注 QT: 確認試験 AT: 製品検査 O: 適用項目	図番	SLC-128237-11-00		
	製品規格表	製品名	PS3F-2RS/8S/10S (11)	
	ヒロセ電機株式会社	製品コード	CL0236-1055-4-11	△ 3/4

付 図

付図 2. 軽減曲線（ディレーティングカーブ）（参考）



- 1 軽減曲線は、基礎曲線の電流値に0.8の軽減係数を乗じた曲線です。
- 2 定格電流は、コネクタが使われる周囲温度により変わります。  
軽減曲線（破線）より内側でのご使用をお勧めします。
- 3 本製品のディレーティングカーブの測定方法は以下によります。
  - ・ PS3-2UP (11) (オス端子)とPS3-2US (11) (メス端子)を使用。
  - ・ 使用するケーブルの導体断面積: 22mm<sup>2</sup>
  - ・ 静止状態で通電し、測定。
 （詳細は弊社試験成績書管理番号TR0236B-20255によります。）

注 QT:確認試験 AT:製品検査 O:適用項目	図番	SLC-128237-11-00	
	製品規格表	製品名	PS3F-2RS/8S/10S (11)
	ヒロセ電機株式会社	製品コード	CL0236-1055-4-11  4/4